

まちの話 だい

3月25日 | 桜色の川根路を駆ける

第37回「川根桜まつり走ろう会」が、川根町家山で開催され、約500人が参加しました。

この大会は、毎年「かわね桜まつり」に合わせて開かれ、川根文化センター前を発着点に、家山川沿いや野守の池などの地区内の名所を巡ります。参加者は、3・5・10kmとファミリーの部に分かれてゴールを目指し、沿道の声援を受けながら見頃を迎えた桜の中を駆け抜けていました。



3月14日 | 一足早い新茶の便り

本格的な新茶シーズンを前に、初倉地区でハウス新茶の初摘みが行われました。

収穫されたのは市内の主力品種緑茶の「やぶきた」。3月の陽気の中、地元農家の主婦12人が、もえぎ色の柔らかい新芽の「一芯二葉」を丁寧に摘み取りました。出来上がった緑茶は、露地物よりも1カ月ほど早い「大走り新茶」として販売され、一足早い春の訪れを届けます。

3月10日 | 蓬萊橋と思い出の写真を

島田商工会議所青年部と島田工業高校建築科が、蓬萊橋右岸側の展望台に記念撮影用の大型フォトフレームを設置しました。

これは、同青年部が観光地活性化事業の一環として、蓬萊橋をより思い出に残るスポットにしようと企画し、高校生と共同で制作。材料には、かつての橋桁の古木が使われ、蓬萊橋が背景に収まるよう配置されています。

